

セミナーのご案内

10月25日に船橋市中央公民館にて行うセミナーの内容を簡単にご紹介します。

同時開催
セミナー



14:00~
15:00

課題の8割が行きついた解決への“打ち手”
生産性向上に向けた施策と
“100”の現場課題を分析して見えたこと
—問題解決の突破口はここに—

事前予約制
先着50名（1事業所5名まで）

講師 **未来すまいる研究所** 代表 **大内英之**
by Share Support Corp.
令和5年度 厚生労働省「介護ロボット開発、実証、普及プラットフォーム構築事業」
(埼玉、千葉、茨城担当)
社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館 介護ロボットアドバイザー

◎生産性向上に向けた施策について・・・

事業所運営を正しい方向に導くためには国が目指す方向性、施策動向を把握しておくことは必要不可欠です。2040年にむけて国は生産性向上における数値的目標を設定しています。また介護ロボットの重点開発項目も増え、新しい種類の介護ロボットも開発されてきます。セミナーでは上記事項も含めた施策と国が目指す介護事業所DXの姿を解説いたします。

◎100の現場課題を分析して見えたこと

介護ロボット導入を目的とした伴走支援、課題抽出・分析のワークショップを通じて多くの現場課題を把握することができました。その課題のうち、100課題を生産性向上ガイドラインの手法に沿って分析し、ガイドラインが示す“打ち手”を選定しました。その結果を分析すると課題の8割に共通点がありました。セミナーでは課題の分析方法や打ち手、8割の共通点と解決にむけた取組みをご説明致します。

次頁：分析した課題の一覧

<分析した課題一覧>

- 1 リーダーの事務処理する日を増やしたい
- 2 食事介助に時間がかかる
- 3 介護技術の向上
- 4 訴えが多い
- 5 食事を食べずに捨ててしまう人がある
- 6 トイレ介助の負担軽減／トイレに行く人に何回も同行すること
- 7 レクの時間を増やしたい／時間がすくない。
- 8 給料が低い
- 9 他の利用者様にあたりの強い人がいる
- 10 呼吸の確認が難しい方がいる
- 11 一緒にショッピング（スーパー）に行きたい
- 12 入居者にあつた入浴形態の提供
- 13 入居者、職員に負担なく移乗してもらいたい
- 14 受診が遅い／受診する判断が遅い
- 15 夜間不穏になる
- 16 食事が終わったあとに TV を見ていることが多い
- 17 外出時間を増やす
- 18 身体の痛みを減らしてあげたい
- 19 夜勤時の休憩の確保
- 20 1人勤務の時間を減らしたい
- 21 腰が痛い
- 22 職員不足
- 23 入浴介助の人手不足
- 24 外国人職員の教育
- 25 特定技能の人数が多く言葉の壁がある
- 26 入浴できない日がある
- 27 介護度があがり機械浴の人数が増え、入浴介助の負担が増加

- 28 利用者と楽しむ時間が確保できない
- 29 事故が発生する
- 30 夜間帯の業務負担が大きい
- 31 ムダ話が多い
- 32 利用者の話や意見を聞くことができない
- 33 外出支援ができない
- 34 安全・安心なサービス提供ができない
- 35 トイレ等の誘導がタイムリーにできない
- 36 スタッフがいらだっている
- 37 利用者の話を聞くことができない
- 38 施設内の清掃が行き届かず環境がわるい
- 39 食事の介助を必要とする利用者が増えた
- 40 徘徊対応に苦慮する
- 41 重くて1人で移乗介助が困難な利用者がある
- 42 夜間対応が重なった際の対応が困難
- 43 見守りが疎かになり転倒の危険がある
- 44 居室内で事故が確認できないので状況説明ができない
- 45 人手不足
- 46 認知症で夜間眠らない為、ベッドからの転倒リスクがある
- 47 リスク管理が甘い
- 48 事故分析ができていない
- 49 時間に追われている
- 50 “だって人がいない”が口癖
- 51 トイレ対応が同時
- 52 ひとりになる時間が多い
- 53 整理整頓ができていない
- 54 制限の多い職員が多い
- 55 職員が入ってこない

- 56 事故が多い
- 57 夜勤時に休憩がとれない
- 58 裏方業務を減らしたい
- 59 急な休みの対応
- 60 残業が多い
- 61 希望休がとれない／体調不良の時に休めない
- 62 家族の協力がもらえない
- 63 機械アレルギー
- 64 プラスアルファの仕事が多い
- 65 利用者の出入が多い（デイサービス）
- 66 電話が多い
- 67 給料が安い
- 68 一緒にレクをする時間がない
- 69 引継ぎが長い
- 70 情報漏れが多い
- 71 申し送りがアナログ
- 72 書類が多い
- 73 介護記録の時間がとれない
- 74 利用者からセクハラされる
- 75 介護度の重い人への対応。特に入浴
- 76 腰痛予防
- 77 有給消化できない
- 78 評価制度がない
- 79 教育制度を作りたい
- 80 世代間ギャップ、やり方が違う人への教育方法が分からない
- 81 介護職の賃金をあげたい
- 82 介護職の目標設定を作れない
- 83 気付けるスタッフがすくない

- 84 事故が減らない／カンファの対策が同じ
- 85 レクリエーションはやりたくないスタッフが多い
- 86 突発の休み（欠勤者が出ると現場が回らない）
- 87 身体の高い利用者の介助が負担
- 88 決められた業務ができない（見ないふりをする）
- 89 スタッフにスキルの差がある
- 90 困りごとは“主任”と全てふられる
- 91 スタッフ同士のもめ事があちこちにある。パートナーを選ぶ
- 92 ゆっくりと仕事がしたい
- 93 業務量が減らない
- 94 他部署との連携ができていない
- 95 仕事に偏りがある
- 96 情報共有ができていない
- 97 忙しくてスタッフ同士のコミュニケーションが取れていない
- 98 頑張る人とやらない人の差
- 99 備品の管理ができていない
- 100 今日忙しそうねと利用者より言葉が出てくる